



製造業の魅力は、製品を通して社会に貢献しているという喜びを感じることができること。また、「技術を身につけたい」という思いがあれば学歴や経験に関係なく始められるのも特徴です。上川管内では、豊かな農産物を活かした食料品製造業や、木材関連の製造業などが出荷額の上位を占めています。

旭川市

藤原製麺株式会社

山科 竜太さん

2019(平成31)年入社

voice
08

乾麺の生産ラインは変形労働制のため、休日はシフト制の山科さん。



興味あることを

学び続けた今

▶第6工場乾麺の製麺ラインで働く山科さん。仕事や職場のことで悩んだり困ったときは上司に相談し、ミスをしたときには同じことを繰り返さないよう必ずメモをとり記録しています。

Q 製造業の道と藤原製麺を選んだ理由を教えてください。

私は旭川市内でラーメン屋を営んでいる祖母の家で育ち、お昼ご飯には祖母がつくってくれるラーメンを食べていました。中学生のとき、「うちで使っている麺は藤原製麺だよ」と教えてもらい、麺をつくる仕事は「食品製造業」ということを知り、興味を持ちました。

進学先に迷っていた時期と重なっていたこともあり調べたところ、旭川農業高校に食品科学科という、原材料の生産から加工、衛生管理、流通・販売まで食品に関する幅広い知識と技術を学ぶ場を見つけ、進学先を決めました。

3年間学んだ後、中学生のころから関心のあった藤原製麺株式会社へ入社しました。以前から祖母とお付き合いのある会社ですし、孫の職場として祖母も「安心できる」と言ってくれています。

Q 製造業の仕事のやりがいや喜びを教えてください。

工場は立ち仕事なので体力的に疲れる部分もちろんありますが、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの店舗へ行くと、自分が製造担当した麺が売られていて、店内でドーンと目立つようにPRされ

ているのを目にします。さらに、売れ行き良く商品が減っているのを見ると、うれしいです。

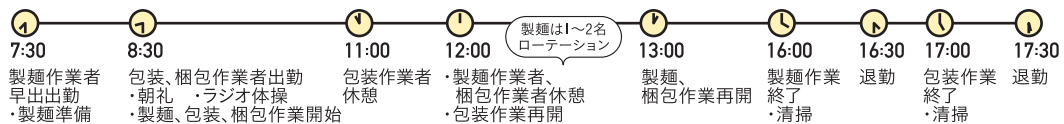
Q 高校2年生の皆さんへ、メッセージをお願いします。

私は中学生のころ、進学先を迷っていました。それは、自分が高校に入って学んだとして将来、就職先で何をやりたいのかが自分で何もわかっていなかったからです。

藤原製麺についても、やりたいというよりは、少し興味が湧いたという感じでした。でも、何にも関心がないより、興味のあることを学ぶ方が絶対、あとにつながるだろうと思い、前へ進みました。結果的に目指した場所へ来られて、仕事自体も興味があったことを続けられているので、「ずっとこの仕事を続けていきたい」と思っていますし、失敗を経験しながらもやりがいを感じて職務に取り組んでいます。まだまだわからないことも多いですが、ゆっくりと確実にできることを増やしていきたいです。

何がやりたいのかわかっていないのであれば、自分が興味あることをひとつ探してみても、その興味があることをどんどん学ぼうという姿勢で動いていくと、未来への道は開けると思います。

1日の仕事の流れ



繁忙期 1月~8月 ▶ 6月から8月にかけて「そうめん」の需要が上がり、スーパーマーケット等への供給量が増えます。また、商品の供給を絶やさぬよう、1月から「先づくり」による生産量が増えるので、第6工場の繁忙期は1月から8月となっています。

※令和4年(2022年)11月現在の内容です。

